



「臥竜鳳雛」



*タイトルの意味は？調べてみよう

2020・5・15日 第23号

学年主任 森本 聡一郎

1. 「学年全体で新しいスタートを切る雰囲気！」

先日、ラジオを聞いていて令和時代に入って1年がたったことに気づいた。昨年的大型連休は10連休であったことも思い出した。一般的に大型連休といえば家族で旅行やドライブをしたり、丹波地方なら農作業の手伝いが恒例行事であった。1年前には予想もしていなかったステイホームのゴールデンウィークだが、私はなかなか充実していた。母が亡くなり、譲り受けた畑仕事。今年は10種類以上の野菜の苗を植えたり種を蒔いた。ナスやきゅうり、トマトや万願寺とうがらし以外に今年はパプリカやオクラ、しそや人参に挑戦。トマトは初めて屋根をつけた。玉ねぎやスナップえんどうの収穫ももうすぐ始まる。夜には自分の本棚にある本を読み返してみた。これが意外にも新鮮で面白い。昔に少しタイムスリップしたように感じた。

オンライン授業が始まって1週間。14日には政府が緊急事態宣言解除に向けた方針を発表した。少しずつではあるが、6月からの学校再開に向けて動き出している。実質6月から始まる新学期に期待することをいくつか述ようと思う。これまでの生活・学習習慣を振り返り、仕切り直しができるように目標を設定した。「簡単なことでもいいから、毎日できることを新たに始めたい」

- ① 授業の始まりは挨拶から
- ② 提出期限を必ず守る
- ③ 朝の小テストに全力を注ぐ

以上の3点について期待する。『継続は力なり』を実証してほしいと思う。

保護者の皆様へ

受験までまだ2年近くあるために、「伸び伸びと高校生活を楽しんでほしい」と考える保護者も多いようです。確かに受験を強く意識する必要はありませんが、科目数や学習内容が増える2年生は、生活習慣の仕切り直しが必要です。生徒たちは口では言いませんが「2年になったら変わろう」と考えています。その小さな変化を見逃さず、成長したと思われる言動には「褒める」ことをお願いします。**生徒たちはそれなりに自分の進路について、真剣に向き合おうとしています。その気持ちは理解してやってください。まだまだ言うことと行動は一致しないことばかりですが、温かい目で見守ってほしいと思います。**

2. 「努力が効果を現すまでには時間がかかる。

多く人はそれまでに飽き、迷い、挫折する」

ヘンリー・フォード (米国の自動車王)

「花は一瞬にして咲くのではない」と言われます。暑さ寒さに耐えて芽を出し、風雪に晒(さら)されて成長してきた結果として開花の時が訪れるのです。その美しい成果は愛でられ

褒められればいいのですが、むしろそこまでの人知れぬ努力にこそ真価があるのではないのでしょうか。

人の立場に置き換えてみれば、我々は時として結果と目的を混同しがちです。一つ一つの結果に目を奪われて、本来の目的を見失うことがよくあるのではないのでしょうか。長い人生ではひと花もふた花も咲かせることはあるでしょうが、うまく咲かない時もあります。しかし、逆境における行動こそが、その人物の価値を如実に示すものです。一時的な結果だけを考えてくよくよすることはありません。「そんな時もあるさ」と考えて、より大きな真の目的を見失うことなく、また努力を続けていきましょう。その果てに大輪の花が咲くのだと思います。目的を定めたならば、飽きないこと、迷わないこと、挫折しても立ち上がることを大切にしてください。たとえ、思うような結果に至らずとも、自己満足と言われようとも、納得できる生き方とはそこにしかないように思うのです。さあ、3年になって結果が出るも出ないも、2年にどこまでやるかにかかっています。

